



ふじもとともこ
藤本智子

にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

学童保育所の未設置校区への設置推進を

問 市内には学童未設置校区が3割程残されている。設置を求める声があっても一定の条件をクリアしなければ設置に至らず、時間がかかる。設置に向けた日常的な取り組みをすべきではないか。子育て支援として福祉部局との連携を。また、学童保育の安定的活動を保障し発展させるためには、指導員の養成、研修、身分保障、労働条件の改善が必要ではないか。

答 学童保育所の未設置校区には小規模校が多いことから、今年度から新たに児童10人以下の場合の運営補助を設けたが、今後は学校側と連携してニーズの把握に努めるほか、学童保育運営のための研修会の実施や学童保育所設置条件等の積極的な情報発信に取り組みたい。

学童保育所は就学前の保育を担当する健康福祉部と就学後の保育を担当する教育委員会が密接に連携する必要がある、そのように対応していきたい。

指導員の知識習得等の研修会については実施しているが、労働条件等は各学童保育所での労働契約により対応いただいている。報酬については、半分が保護者負担で賄われており、国等の議論の方向性も注視しながら、本市のあり方を検討していく。

●その他の質疑・質問●

- 下水道事業の整備促進を
 - ・志登茂川流域下水道の供用開始時の面整備率引き上げを
 - ・住宅団地集中浄化槽の市への移管スケジュールを明確に
 - ・市町村設置型合併浄化槽の推進を
- 公共建築物など木材利用方針の徹底と推進、林業支援を
- 住宅確保困窮者に視点を当てた住環境整備の推進を など



▲団地の集中浄化槽の市への移管スケジュールを明確に



たなかかつひろ
田中勝博

いっしんかい
一津会

津市の将来の財政状況をどう考えているのか

問 決算に係る健全化判断比率と資金不足比率の議案に対して津市の財政運営の在り方を問う。自治体の財政状況の悪化は市民生活に多大な影響を与える。実質公債費比率は1.1%改善されているが、将来負担比率については0.7%悪化している。これらの比率の増減要因をどのように分析されているのか。将来の財政状況をどのように考えているのか。

答 実質公債費比率については、合併以後、地方債の償還と新規発行のバランスを考慮し、残高の削減に努めたことにより、1.1%減少した。

将来負担比率については、新斎場の建設整備費、約24億円が一時的に将来負担額として算入されるために0.7%増加しているが、新斎場が完成し、合併特別債を発行して建物を取得すれば、将来負担比率への影響は低減される。

現在は健全な財政運営ができているものと分析しているが、人口が減少し、国の財政が悪化していく中、厳しさが増していくと思われることから、事業の優先度を見きわめ、行財政改革をさらに進めながら、効果的な税収確保を図り、健全で安定した財政運営に努めていく。

●その他の質疑・質問●

- 職員の採用と労働環境に関し
 - ・技術伝承についての考え方は
 - ・職員の配置と残業の関係は
 - ・資格取得と年齢等の条件は
- 教育委員会の組織と政策についての情報公開は
 - ・議事録公開における議論の活性は
 - ・公開されていない議題は
 - ・校長会、教頭会等との関係は など



▲今期定例会で認定された一般会計歳入歳出決算等